

輸入感染症アプローチ

国立国際医療研究センター 国際感染症センター

丸木 孟知

本日の目次

- 輸入感染症へのファーストアプローチ
- 代表的な渡航関連疾患
- 話題になっている渡航関連疾患

本日の目次

- 輸入感染症へのファーストアプローチ
- 代表的な渡航関連疾患
- 話題になっている渡航関連疾患

輸入感染症へのファーストアプローチ

まず、「渡航歴」を聴取しよう！

例) 30歳男性 発熱

【現病歴】 前日から38.5℃の発熱
上気道症状なし、腹痛・下痢なし
食事、水分の摂取は可能

【既往歴】 なし

【身体所見】 特記すべき身体所見なし



鑑別は？

インフルエンザ？ コロナ？ 上気道炎？



例) 30歳男性 発熱

- 【現病歴】 前日から38.5℃の発熱
上気道症状なし、腹痛・下痢なし
食事、水分の摂取は可能
- 【既往歴】 なし
- 【身体所見】 特記すべき身体所見なし



そうだ！ 渡航歴を聞こう！！



理由①

輸入感染症は、症状が非特異的でフォーカス（感染臓器）がはっきりとしない

理由②

鑑別が多岐に渡り、検査の前に疾患の絞り込みが必要

渡航歴を聞かないと診断が難しい

「渡航歴」のアプローチ

「最近、海外に行かれたか？」

① 渡航地 「どこへ？」

② 渡航期間 「いつからいつまで？」

③ 曝露歴 「なにをした？」

① 渡航地

「どこに行きましたか？」

<ポイント>

国名だけではなく地域・都市名まで正確に！

田舎なのか？都会なのか？

マラリアの可能性があるか？を考えることが最も大事！

なぜマラリアの診断が重要なのか？

熱帯熱マラリアは死亡率が高く、重症化する疾患

そのため、診断・治療をできるだけ早く行う必要がある

重症化に関わる因子のうち、医療者が改善できるのは早期診断
NCGMにおける熱帯熱マラリアの重症化率(2005-2016)：
発症4日目まで17.9%、**5日目以降47.1%**

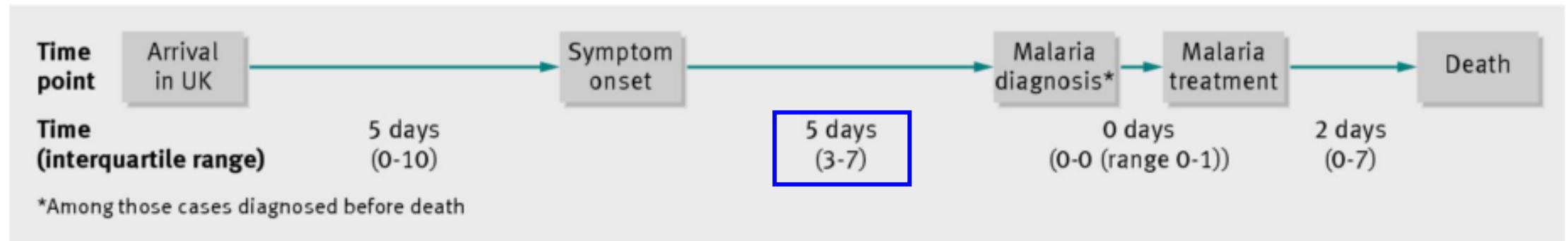


Fig 4 Relevant time intervals in fatal cases of imported *P. falciparum* malaria in the UK between 1987 and 2006

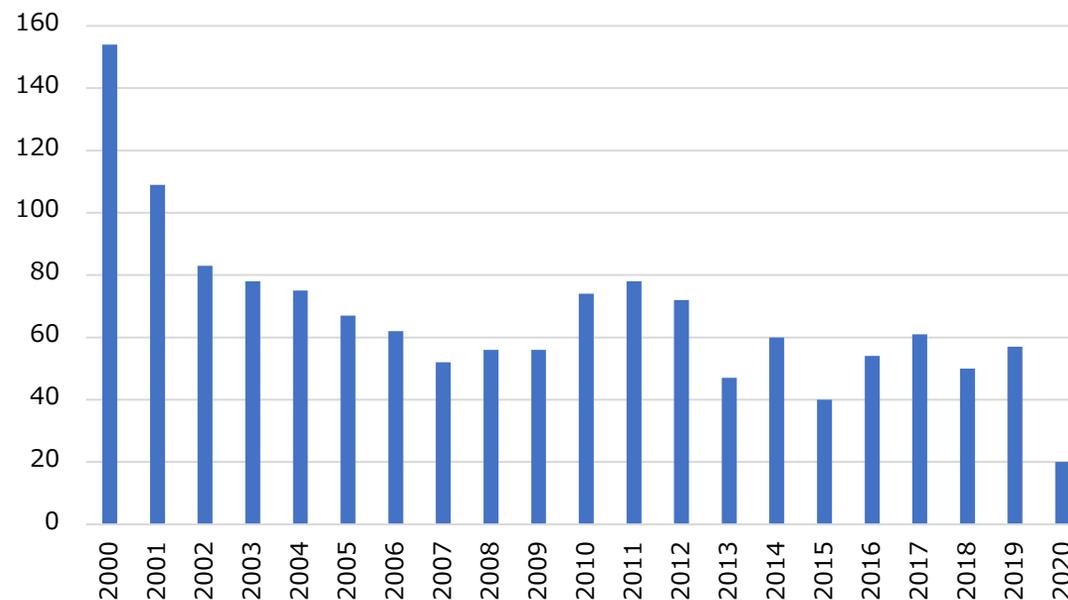
日本でのマラリア

40-60 例/年
ものすごく稀

	No of cases a year	population	Per 100,000	Compared to Japan
Japan	45	126,420,000	0.04	-
US	1511	327,400,000	0.46	X11
Germany	401	82,670,000	0.49	X12
UK	1898	65,640,000	2.89	X72
France	2169	66,900,000	3.24	X81

Lancet Infect Dis. 2017;17(1):98-107.

日本のマラリア報告数



<https://www.niid.go.jp/niid/ja/ydata/10067-report-ja2019-20.html>

マラリア死亡のリスクは地方のほうが高い

2005-2016 NCGM（東京都新宿区）で治療したマラリア
日本全体の20.3%、東京の56.2%

マラリアのほとんどは都市部で発生

- ・外国人は都市部に多い
 - ▶重症化リスクは低い（いわゆるsemi-immune）
 - ▶マラリアを想起しやすい、本人もリスクを認識している
- ・感染症専門医がたくさんいる
- ・トラベルクリニックが多い

地方では、ものすごく稀に突然マラリア患者が突然発生する可能性

- ・日本人の患者が多い
 - ▶重症化リスクが高い
 - ▶マラリアを想起しにくい
- ・感染症専門医が少ない
- ・トラベルクリニックが少ない

日本のマラリア診療で大切なのは

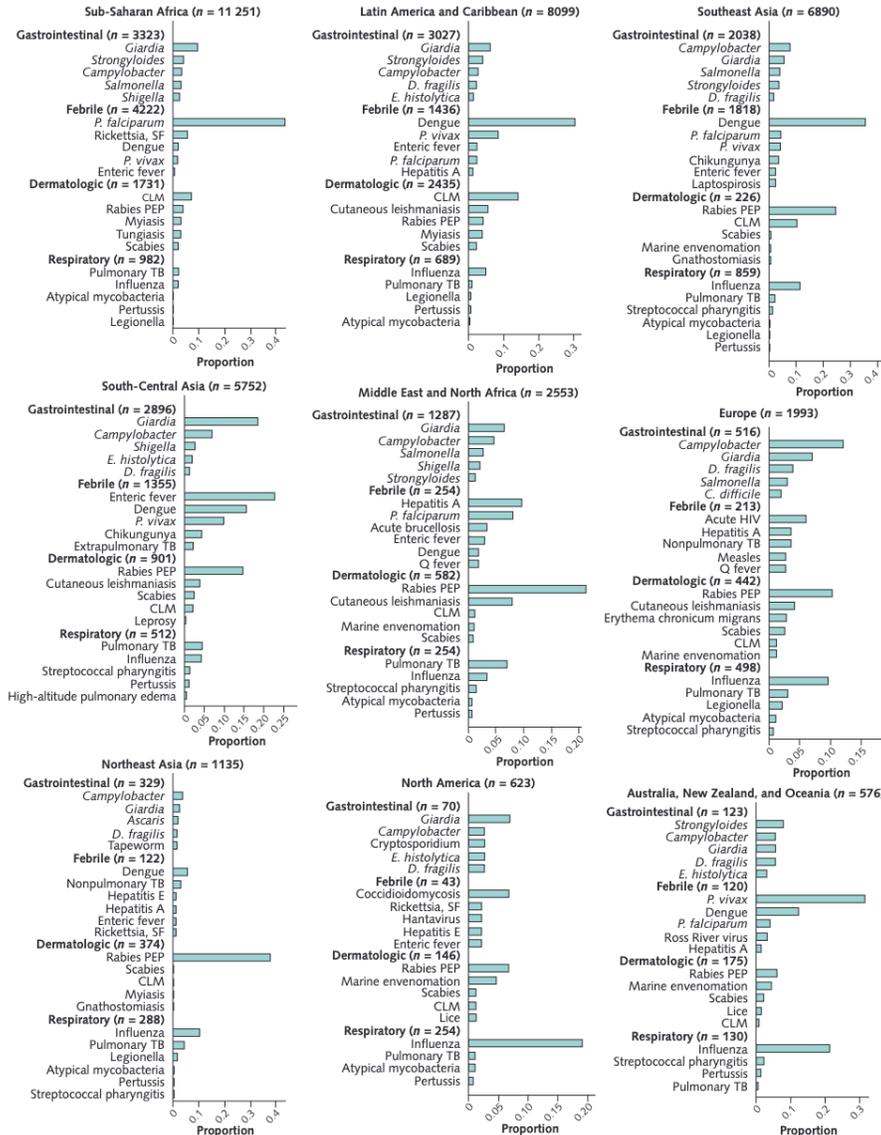
疑うこと
&
気付くこと

もしかして
マラリア？

その先は、治療も出来ればより良いが、紹介すれば十分
診断をつけることが重要

地域によって感染症の頻度は異なる

【発熱疾患】



頻度	東南アジア	南アジア	サハラ以南 アフリカ	南米
(多)	デング熱		マラリア (熱帯熱)	デング熱
		腸チフス		
	マラリア	デング		マラリア (三日熱)
	チクン グニア	マラリア (三日熱)		
	腸チフス	チクン グニア	リケッチア	腸チフス
(少)	レプト スピラ		デング	A型肝炎
			腸チフス	

よく使うウェブサイト

FORTH

厚生労働省 検疫所のサイト。

日本語で各地域の感染症がまとめられている。

海外で健康に過ごすために

厚生労働省 検疫所 **FORTH** [↑ ホーム](#)

▼ 本文へ ▶ FORTHについて ▶ サイトマップ

海外感染症発生情報 国・地域別情報 お役立ち情報 リンク 医療関係者

FORTH (フォース) へようこそ!!
海外の感染症の最新の流行状況や予防方法などの情報をお伝えしています。

海外へ渡航される皆さまへ!!
海外で感染症にかからないようにするためにご覧ください。

お知らせ ▶ [お知らせ一覧](#)

- ▶ [デング熱が流行しています!](#)
- ▶ [麻しん \(はしか\) は世界で流行している感染症です。](#)
- ▶ [2022年5月以降、世界各国でエムボックスの感染事例が報告されています。](#)

渡航先はどちらですか?

Map showing global regions: ヨーロッパ地域 (Europe), 北米地域 (North America), 中米・カリブ海地域 (Central America/Caribbean), 南米地域 (South America), アジア地域 (Asia), アフリカ地域 (Africa), 中東地域 (Middle East), 大洋州地域 (Oceania).

- 1 アジア地域
- 2 アフリカ地域
- 3 北米地域
- 4 大洋州地域
- 5 中東地域
- 6 中米・カリブ海地域
- 7 南米地域
- 8 ヨーロッパ地域

<https://www.forth.go.jp/index.html>

よく使うウェブサイト

CDC Travelers' Health

米国CDCのサイト。
各国の感染症流行情報がまとめられている。
FORTHでカバーされていない国も網羅されている。



Search

Travelers' Health

Increase in respiratory illnesses globally, 2023

CDC is monitoring respiratory illness around the world. Some countries have reported elevated levels of respiratory illness activity. Respiratory illnesses that are circulating include [influenza](#), [COVID-19](#), [respiratory syncytial virus \(RSV\) infection](#), and [Mycoplasma pneumoniae](#) infection.

Actions you can take to help protect yourself and others when traveling include: [vaccination](#), [masking](#), physical distancing, and [washing hands regularly](#). If sick, do not travel and get [tested](#). See more [information about vaccination](#).



Routine Vaccines

Destinations



Where are you going?

-- Select One --

<https://wwwnc.cdc.gov/travel>

よく使うウェブサイト

fitfortravle

スコットランドのサイト。マラリアの地図がある。

India Malaria Map



© Health Protection Scotland.
Source of Administrative boundaries: The Global Administrative Unit Layers (GAUL) dataset, implemented by FAO within the CountrySTAT and Agricultural Market Information System (AMIS) projects.

Low to no risk antimalarials not usually advised	Low risk with additional advice – see text	High risk antimalarials usually advised	Surrounding country with malaria risk
---	---	--	---------------------------------------

The map must always be used in conjunction with the malaria advice text
This map is only intended as a guide and is not exact. Bite avoidance measures should be taken in all areas

Click on an icon below for additional country information

- Regional Information
- Airports and Ports
- States and Provinces

The screenshot shows the fitfortravel website homepage. The header features the logo and navigation links for Home, Destinations, Advice, News, Resources, and A-Z Index. A search bar is located in the top right corner. The main content area displays a collage of travel-related images, including a couple on a beach, a person surfing, and various travel scenes. A prominent button labeled 'Browse Country Information' is overlaid on the collage. Logos for Public Health Scotland and NHS Scotland are visible in the top right corner.

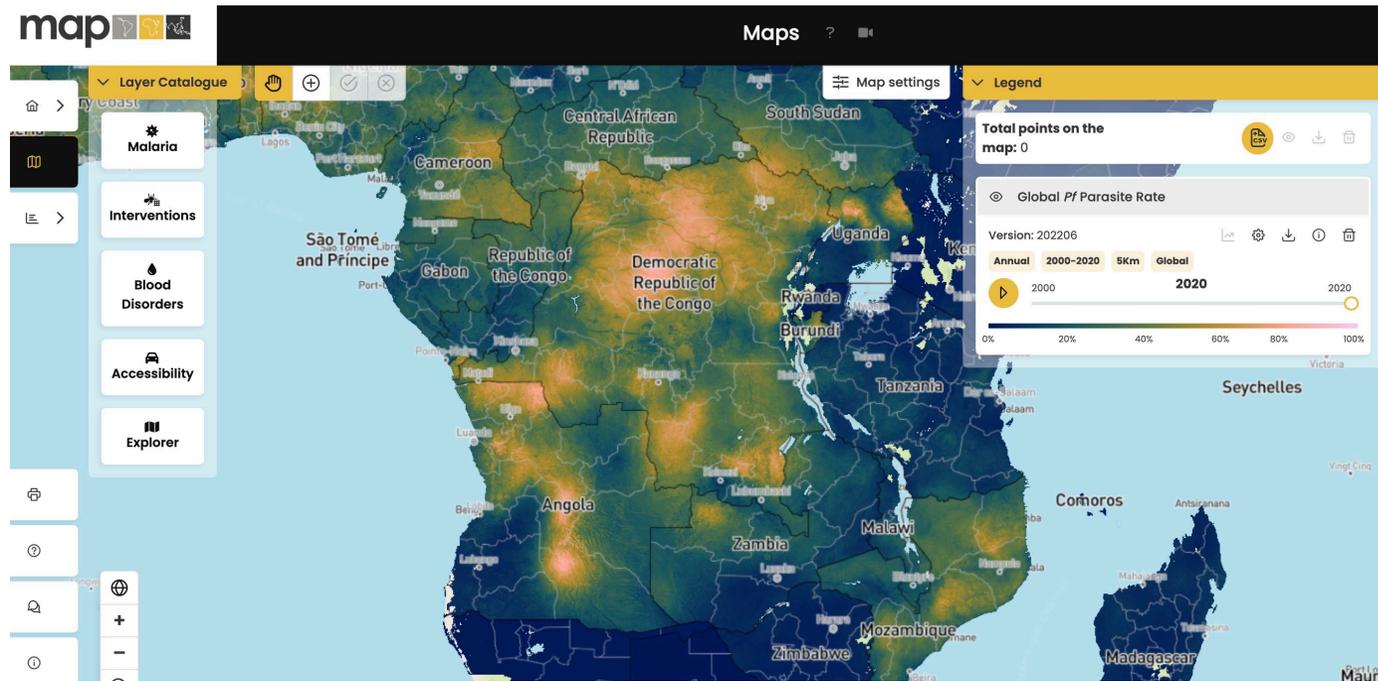
<https://www.fitfortravel.nhs.uk/home>

よく使うウェブサイト

MALARIA ATLAS PROJECT

マラリアに特化したサイト。

グラフィカルにマラリアの分布がまとめられている。



② 渡航期間

「いつから、いつまで行きましたか？」

<ポイント>

- ・いつから渡航したか？だけではなく、いつ帰国したかも重要
- ・複数の国を渡航している場合には、それぞれの滞在期間を細かく聞き出す

【潜伏期】

★感染～発症までの期間は疾患によって異なり、ある程度疾患を絞ることができる

- ・最短の潜伏期間～最長の潜伏期間を考える
- ・渡航日、帰国日、発症日によって潜伏期間を推定する

[TIPS]

熱帯熱マラリアの潜伏期間は6～30日間

例題)

- ① ウガンダに10/25より渡航した日本人。
10/29に帰国。11/3に発症。
→潜伏期

例題)

- ① ウガンダに10/25より渡航した日本人。
10/29に帰国。11/3に発症。
→潜伏期 5日~9日

- ② ベトナム在住の訪日客人。
10/29に来日。11/3に発症。
→潜伏期

例題)

- ① ウガンダに10/25より渡航した日本人。
10/29に帰国。11/3に発症。
→潜伏期 5日～9日

- ② ベトナム在住の訪日客人。
10/29に来日。11/3に発症。
→潜伏期 5日～∞
(潜伏期で疾患を絞ることは難しい)

【潜伏期】

短 (<10日)	中 (11~21日)	長 (>30日)
マラリア (熱帯熱)	マラリア (熱帯熱)	マラリア (非熱帯熱)
デング熱	腸チフス	結核
ジカ熱	麻疹	ウイルス性肝炎
チクングニヤ熱	トリパノソーマ	メリオイドーシス
渡航者下痢症	ブルセラ症	急性HIV感染症
黄熱	トキソプラズマ症	住血吸虫症
リケッチア症	Q熱	フィラリア症
インフルエンザ	レプトスピラ	アメーバ肝膿瘍
レプトスピラ		リーシュマニア

③ 曝露歴

聴取すべき内容	
旅行目的	仕事、観光、親族・友人訪問（VFR）、ボランティア、医療行為
現地の季節、天候	雨季、乾季、自然災害後
食事	生水、氷、生肉/魚、カットフルーツ、生野菜、生乳、ゲテモノ食い
宿泊	ホテル、安宿、知人宅、野宿
レジャー	淡水曝露、沼地・湿地、海、野山散策、登山
動物	犬、ネコ、げっ歯類、コウモリ、ラクダ
虫	蚊、ダニ、ハエ、何かの虫に刺された
その他	性交渉、現地の病院受診、交通事故 など

③-2 予防歴があるか？

曝露を聴取する際には予防の聴取も重要！

- ・ 渡航前のプレトラベル外来受診歴があるか？
- ・ ワクチン接種（いつ、何のワクチンを打ったか？）
- ・ 防蚊対策（DEET・イカリジンの入ったものを使用していたか？）
- ・ マラリア予防内服（種類・コンプライアンスも重要）
- ・ 性交渉時にprotectしていたか（相手、行為も重要）

など

③-2 予防歴があるか？

予防の特性も理解しておくことが重要

A型肝炎ワクチン：予防効果ほぼ100%

B型肝炎ワクチン：90%以上は抗体を獲得する

腸チフスワクチン：予防効果は60-70%（パラチフスには効果がない）

マラリア予防内服：予防効果は90%程度

曝露の種類

疾患

蚊

ハマダラカ
(Anopheles)

マラリア、フィラリア

ヤブカ
(Aedes)

黄熱、デング熱、チクングニア熱、ジカ熱、ウエストナイル熱

イエカ
(Culex)

日本脳炎、ウエストナイル熱

ダニ

ライム病、ダニ媒介性脳炎、回帰熱、リケッチア症、クリミアコンゴ出血熱、Q熱、野兔病、バベシア症 など

ハエ

ツエツエ
バエ

アフリカトリパノソーマ症

サシチョウ
バエ

リーシュマニア症、バルトネラ症（オロヤ熱）

シラミ

ペスト、スナノミ症

サシガメ

アメリカトリパノソーマ（シャーガス病）

ブユ (black fly)

オンコセルカ症

曝露の種類	疾患
水	A型肝炎、腸チフス、E型肝炎、コレラ、ノロウイルス、赤痢、ジアルジア症、クリプトスポリジウム、サイクロスポーラ など
乳製品	ブルセラ症、Q熱、リステリア、腸チフス、MERS
非加熱食品	腸チフス、サルモネラ、赤痢、カンピロバクター、寄生虫（条虫症、トキソプラズマなど）
淡水	レプトスピラ症、住血吸虫症、アカントアメーバ、ネグレリア、レジオネラ
土壌	住血吸虫症、レプトスピラ症、鉤虫症、レジオネラ、メリオイドーシス
性行為感染症	HIV感染症、B型肝炎、C型肝炎、梅毒、淋菌、クラミジア、ヘルペスウイルス感染症、mpox など
病人との接触	肺炎、結核、髄膜炎、ラッサ熱、COVID-19 など

例) 30歳男性 発熱

【現病歴】

前日から38.5℃の発熱

上気道症状なし、腹痛・下痢なし

食事、水分の摂取は可能



2週間前にガーナへ渡航し、2日前に帰国。（潜伏1～13日）

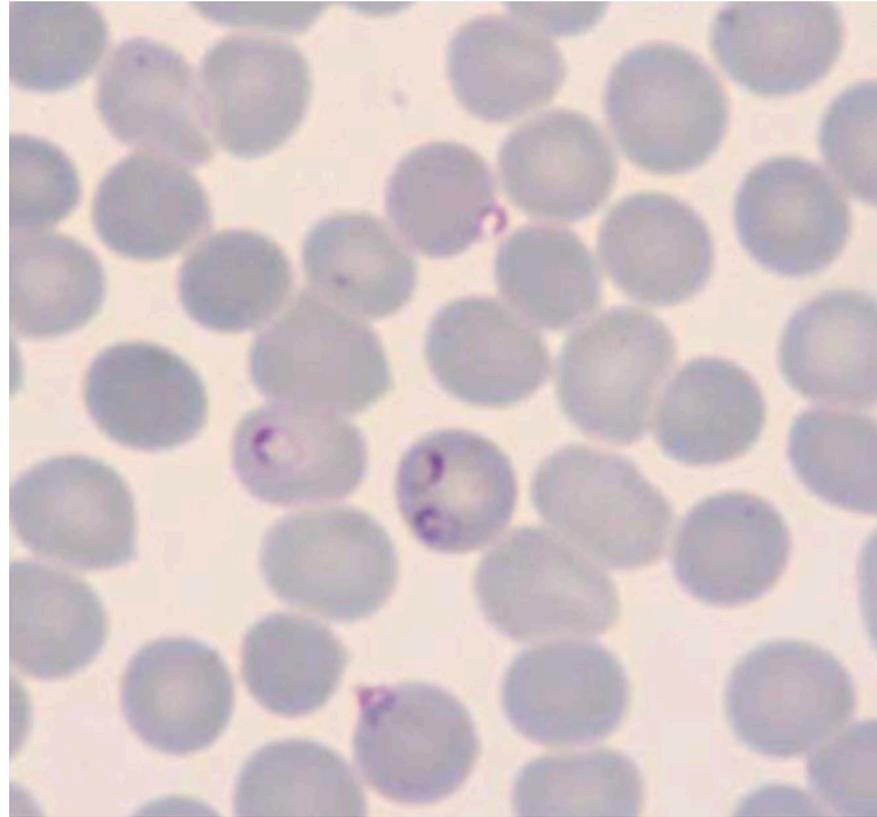
ガーナでは田舎でボランティア活動をしていた。

渡航前のプレトラベル外来の受診はなく、マラリア予防内服もしていなかった。

蚊に刺されないように気をつけていたが、数か所刺された。

例) 30歳男性 発熱

【最終診断】 熱帯熱マラリア



本日の目次

- 輸入感染症へのファーストアプローチ
- 代表的な渡航関連疾患
- 話題になっている渡航関連疾患

1ヶ月熱帯地に滞在した旅行者の健康上の問題

感染症		その他の問題	
旅行者下痢症	30-80%	何らかの健康上の問題	60%
マラリア	2.5%	病気になる	25%
急性呼吸器感染症	1.5%	医療機関を受診する	8%
A型肝炎	0.3%	寝込む	6%
淋菌感染症	0.2%	帰国後仕事に戻れない	2%
動物咬傷	0.15%	現地で入院する	0.4%
B型肝炎	0.09%		
腸チフス	0.03%		
HIV感染症	0.01%	緊急移送	0.06%
ポリオ (無症状)	0.002%	現地で死亡	0.001%
コレラ	0.0003%		

代表的な渡航関連疾患

3 大渡航疾患

マラリア、デング熱、腸チフス

帰国後受診者の診断で多いのは

急性下痢症、動物咬傷、急性呼吸器感染症

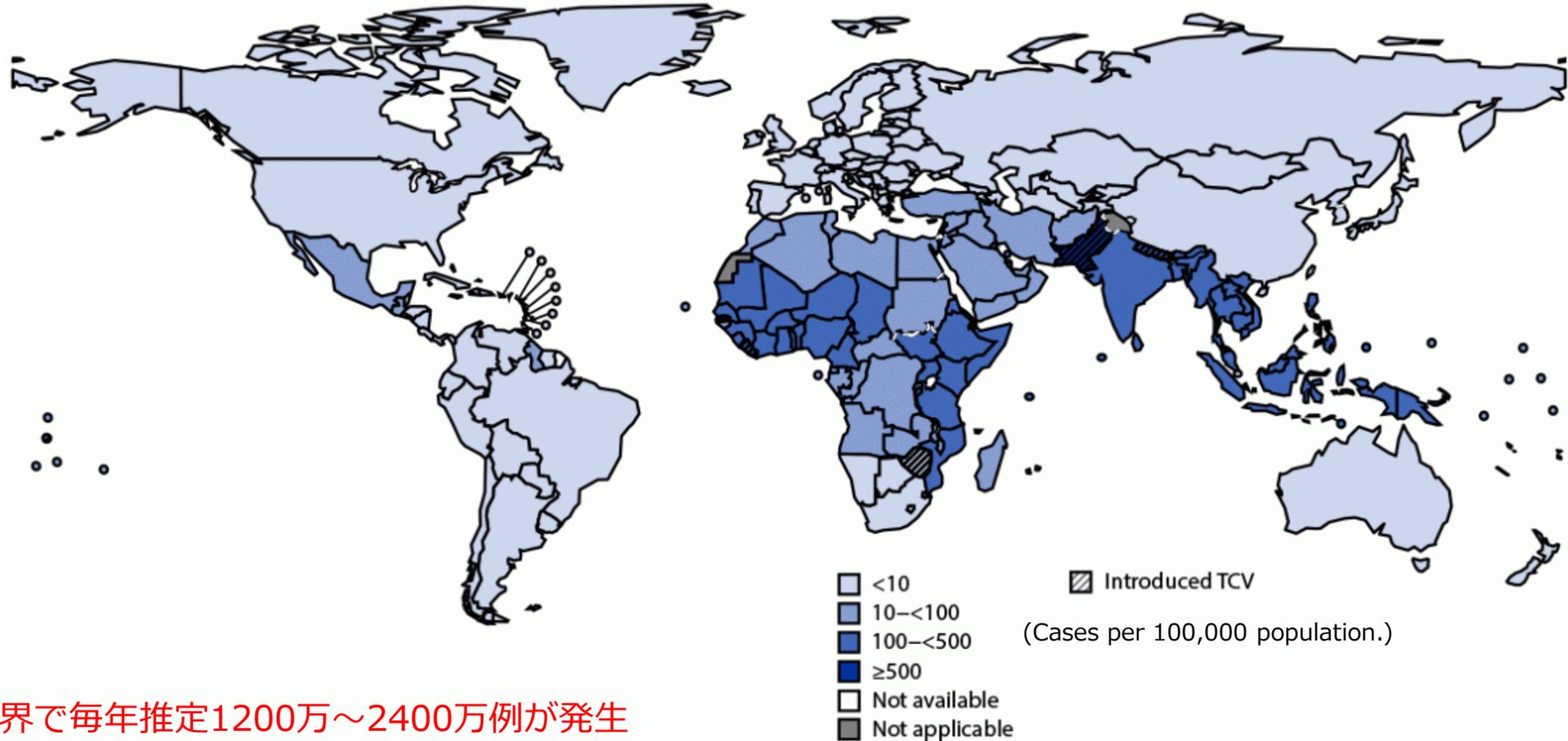
マラリア、デング熱→このセクションでは割愛

13:50	マラリアについて	狩野 繁之	国立国際医療研究センター研究所 熱帯医学・マラリア研究部 部長
14:45	デング・チクングニア・ジカ と近年の動向	山元 佳	国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター医師
15:40	マダニ媒介感染症	忽那 賢志	大阪大学 大学院医学系研究科 感染制御学 教授 医学部附属病院 感染制御部 部長 感染症総合研究教育拠点(CiDER) 人材育成部門 副部門長
16:30	カンジダ・アウリス	石金 正裕	国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター医師
17:10	耐性菌の輸入	大曲 貴夫	国立国際医療研究センター病院 副院長（感染・危機管理担当） 国際感染症センター長 AMR臨床リファレンスセンター長 DCC科長 感染症内科医長併任
17:45	閉会挨拶	大曲 貴夫	国立国際医療研究センター病院 副院長（感染・危機管理担当） 国際感染症センター長 AMR臨床リファレンスセンター長 DCC科長 感染症内科医長併任

腸チフス / パラチフス

- 汚染された水や、食事によって感染する細菌感染症
- *Salmonella enterica* serotypes Typhi / Paratyphiが原因
- 診断は血液培養、便培養
- 潜伏期：約7～18日
- 腸チフスとパラチフスでは症状経過、重症度は変わらない

腸チフス 国別発生率



世界で毎年推定1200万～2400万例が発生

腸チフスの臨床症状・身体所見

臨床症状	頻度 (%)	身体所見	頻度 (%)
発熱	> 95	舌の白苔	> 95
頭痛	80	肝腫大	80
食思不振	50	脾腫	40
悪寒	40	腹部の圧痛	30
咳嗽	30	皮疹	20
腹痛	30	全身のリンパ節腫脹	< 5
下痢	20		
便秘	20		
筋肉痛	20		
関節痛	< 5		

古典的な腸チフスの経過

	第1週	第2週	第3週	第4週
症状	発熱 ← 比較的徐脈 バラ疹 脾腫 (三徴だがないことも多い)	腹痛 便秘・下痢 意識障害	腸管出血 消化管穿孔	解熱
菌検出	血液 ←	糞便 ← 胆汁 ←		

腸チフス / パラチフス

- 採血では白血球減少、好酸球減少を認めることが多い
- 治療はセフトリアキソン、アジスロマイシン
- 治療期間は7～14日間
- キノロン系を使用する際には感受性に注意
- インド、パキスタンなどでは、多剤耐性菌の報告もあり
- 適切な治療を行っても治療終了4週間後に5～10%が再発

渡航者下痢症

- 旅行者の30～80%が罹患
- 東南アジア、南アジア、アフリカ、南米渡航で多い
- 24時間で3回以上の下痢を呈する場合に疑う
- リスクのある飲食物の摂取があるかが重要

(特に水、氷、生果物、生野菜 (カットフルーツを含む) 、加熱していない肉や食品、屋台などでの食事)

- 原因は細菌感染が80～90%

渡航者下痢症

主な原因微生物	潜伏期間	治療
毒素原性大腸菌 (enterotoxigenic E.coli, ETEC)	半日～3日間	対症療法
カンピロバクター (<i>Campylobacter jejuni</i>)	2～5日間	マクロライド系抗菌薬 (東南アジアではFQに耐性が多い)
サルモネラ (<i>Salmonella Enteritidis</i>)	半日～2日間	FQ、AZM、CTR X
赤痢 (<i>Shigella sonnei</i>)	1～3日間	FQ、AZM
腸炎ビブリオ (<i>Vibrio parahaemolyticus</i>)	数時間～1日間	対症療法 (FQ、AZM投与も検討)
ジアルジア (<i>Giardia lamblia</i>)	1～3週間	MNZ

渡航者下痢症

重症度分類と治療方針

重症度	定義	治療方針
軽症	苦痛を伴わず、計画的な活動が防がれない	対症療法
中等症	苦痛を伴い、計画的な活動が防がれる	抗菌薬投与を検討
重症	行動不能 計画的な活動が完全に防がれる <u>血性下痢がある</u>	抗菌薬投与が推奨

本日の目次

- 輸入感染症へのファーストアプローチ
- 代表的な渡航関連疾患
- 話題になっている渡航関連疾患

情報のアップデート

海外で健康に過ごすために



▼ 本文へ ▶ FORTHについて ▶ サイトマップ

- 海外感染症発生情報
- 国・地域別情報
- お役立ち情報
- リンク
- 医療関係者

↑ [トップページ](#) > 海外感染症発生情報

海外感染症発生情報

※日付左側の国名は発生地域を表しています。
※出典が記載されている場合は、原文のまま翻訳して掲載しています。

- ▶ 新着順
- ▶ 鳥インフルエンザ
- ▶ 黄熱
- ▶ デング熱
- ▶ その他
- ▶ 新型コロナウイルス感染症

新着順

- #### 感染症別一覧
- ▶ 新着順
 - ▶ 鳥インフルエンザ
 - ▶ 黄熱
 - ▶ デング熱
 - ▶ その他

- #### 年別一覧
- ▶ 2024年

新着順

- 2024年01月10日 ▶ [デング熱-世界の状況](#) **NEW**
- デング熱
- 2024年01月09日 ▶ [西部ウマ脳炎-アルゼンチン共和国](#) **NEW**
南米 その他
- 2023年12月14日 ▶ [炭疽-ザンビア共和国](#)
アフリカ その他
- 2023年12月08日 ▶ [インフルエンザA \(H1N2\) 変異型ウイルス-グレートブリテンおよび北アイルランド連合王国 \(英国\)](#)
ヨーロッパ その他
- 2023年12月07日 ▶ [エムボックス \(サル痘\) -コンゴ民主共和国](#)
アフリカ その他
- 2023年12月06日 ▶ [鳥インフルエンザA \(H5N1\) -カンボジア王国](#)
アジア
鳥インフルエンザ
- 2023年11月30日 ▶ [小児の呼吸器疾患の急増について-中国北部](#)
アジア その他
- 2023年11月08日 ▶ [ジフテリア -ギニア共和国](#)
アフリカ その他
- 2023年10月24日 ▶ [デング熱-チャド共和国](#)
アフリカ デング熱
- 2023年10月24日 ▶ [ニバウイルス感染症-インド共和国](#)
アジア その他

- #### 年別一覧
- ▶ 2024年
 - ▶ 2023年
 - ▶ 2022年
 - ▶ 2021年
 - ▶ 2020年
 - ▶ 2019年
 - ▶ 2018年
 - ▶ 2017年
 - ▶ 2016年
 - ▶ 2015年
 - ▶ 2014年
 - ▶ 2013年
 - ▶ 2012年

<https://www.forth.go.jp/topics/fragment1.html>

情報のアップデート



Home Health Topics Countries Newsroom Emergencies Data About WHO

Emergencies

Overview Surveillance Operations Research Training Partners Funding

Disease Outbreak News (DONs)

Latest WHO Disease Outbreak News (DONs), providing information on confirmed acute public health events or potential events of concern.

Search by keyword From To

Regions Countries/Areas

Related emergency content

[Situation reports](#) >

- Disease Outbreak News
11 January 2024 | Circulating vaccine-derived poliovirus type 2 (cVDPV2) - Indonesia
- Disease Outbreak News
28 December 2023 | Western equine encephalitis - Argentina
- Disease Outbreak News
21 December 2023 | Dengue - Global situation
- Disease Outbreak News
8 December 2023 | Anthrax - Zambia
- Disease Outbreak News
1 December 2023 | Influenza A(H1N2) variant virus infection - United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland
- Disease Outbreak News
29 November 2023 | Avian Influenza A (H5N1) - Cambodia

<https://www.who.int/emergencies/disease-outbreak-news>

情報のアップデート

CDC Current Outbreak List

[Print](#)

Infectious disease outbreaks currently being reported on by CDC. Listings include those outbreaks for which content is currently published on the CDC website.

U.S.-Based Outbreaks

Recent investigations reported on CDC.gov

- [Charcuterie Meats – Salmonella Infections](#)
ANNOUNCED JANUARY 2024
- [Lead and Chromium Poisoning Outbreak Linked to Cinnamon Applesauce Pouches](#)
ANNOUNCED DECEMBER 2023
- [Cantaloupes – Salmonella Infections](#)
ANNOUNCED NOVEMBER 2023
- [Peaches, Nectarines, and Plums – Listeria Infections](#)
ANNOUNCED NOVEMBER 2023
- [Suspected Fungal Meningitis - Epidural Related Surgeries in Mexico](#)
ANNOUNCED MAY 2023

Travel Notices Affecting International Travelers

Please see the [Travelers' Health site](#) for a complete list.

- [Level 1 - Western Equine Encephalitis Virus in Argentina](#)
JANUARY 2024
- [Level 2 - Global Polio](#)
JANUARY 2024
- [Level 2 - Diphtheria in Niger](#)
DECEMBER 2023
- [Level 1 - Dengue in Africa and the Middle East](#)
DECEMBER 2023
- [Level 1 - Dengue in the Americas](#)
DECEMBER 2023
- [Level 1 - Dengue in Asia and the Pacific Islands](#)
DECEMBER 2023

Food Safety Recalls

FSIS Issues Public Health Alert for Raw Frozen Pork Dumpling Products Produced without Benefit of Inspection
Jan 18, 2024

Brightfarms Recalls Spinach and Salad Kits Because of Possible Health Risk as a Result of Supplier Element Farms Recall
Jan 17, 2024

Big Island Candies Issues

International Outbreaks

- [2022 Uganda, Mubende District](#)
ANNOUNCED SEPTEMBER 2022
- [2022 Democratic Republic of the Congo, North Kivu](#)
ANNOUNCED AUGUST 2022
- [U.S. Mpox Outbreak 2022](#)
ANNOUNCED MAY 2022
- [Coronavirus Disease 2019 \(COVID-19\)](#)
ANNOUNCED JANUARY 2020

Further Sources for Content about Specific Outbreaks

- [Multistate Foodborne Outbreaks](#) – Foodborne outbreaks listed by year
- [Hepatitis A Outbreaks](#) – Hepatitis A outbreak investigations since 2013 where CDC supported or led the investigation.
- [US Outbreaks Linked to Contact with Animals or Animal Products](#)
- [Health Alert Network](#) – Health alerts, health advisories, updates, and info service messages. Designed for public health and medical communities.
- [Recent Outbreaks and Incidents](#) – Events involving the CDC Emergency Operations Center
- [Morbidity and Mortality Weekly Report](#) – Outbreak investigation reports included among other content. Note that outbreak material includes state health department investigations. Designed for public health and medical communities.

情報のアップデート



ProMED-Homepage-Banners_28th_V2

WEBCAST
Infection Prevention and Control:
Past, Present and Future

Visit the **ISID Knowledge Exchange** platform for open-access educational modules, webinars, and podcasts.

ISID KNOWLEDGE EXCHANGE

[Watch our Latest Webinar](#)

[ProMED-mail](#) [Português](#) [Español](#) [Русский](#) [Mekong Basin](#) [Afrique Francophone](#) [Anglophone Africa](#) [South Asia](#)

[Middle East/North Africa](#) [Antimicrobial Resistance](#)

Latest on COVID-19

- [Latest](#)
- [Plants](#)
- [Hot Topics](#)
- [Errata](#)

Latest Posts By Topic

- 17 Nov 2022 [Monkeypox update - USA \(108\): cases, NJ death, FDA approves Roche's test](#)
- 16 Nov 2022 [Monkeypox update \(107\)](#)
- 13 Nov 2022 [Monkeypox update \(106\)](#)
- 12 Nov 2022 [Yellow fever - Africa \(15\): Nigeria](#)
- 12 Nov 2022 [Ebola update \(39\): Uganda, WHO](#)
- 11 Nov 2022 [Monkeypox update \(105\)](#)
- 10 Nov 2022 [Monkeypox update \(104\)](#)

[View printable version](#) Share this post: [f](#) [t](#) [e](#) [m](#)

Published Date: 2022-11-17 08:41:19 JST
Subject: PRO/AH/EDR> Monkeypox update - USA (108): cases, NJ death, FDA approves Roche's test
Archive Number: 20221116.8706773

MONKEYPOX UPDATE - USA (108): TOTAL CASES, NEW JERSEY MONKEYPOX-ASSOCIATED DEATH, FDA APPROVES ROCHE'S TEST

A ProMED-mail post
<http://www.promedmail.org>
ProMED-mail is a program of the International Society for Infectious Diseases
<http://www.isid.org>

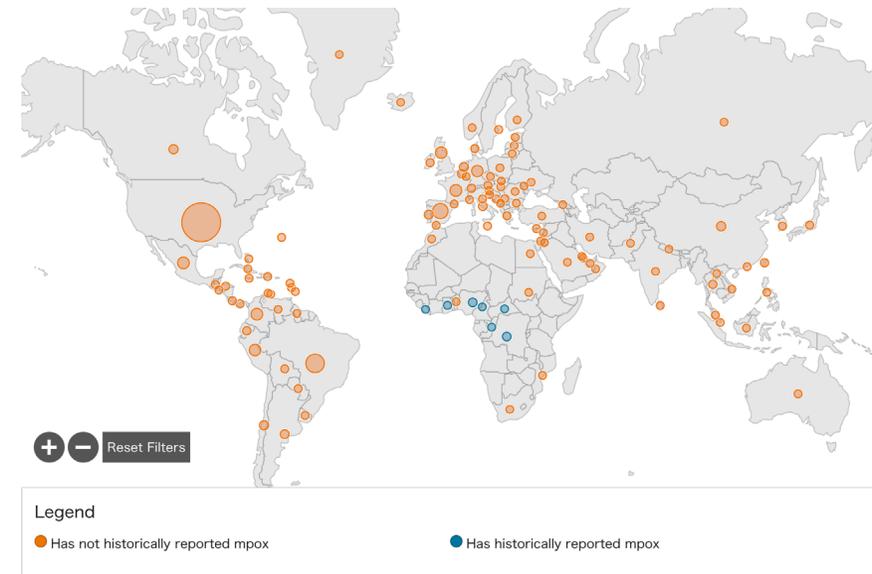
In this update:
[1] USA: cases by state
[2] USA (New Jersey): 1st death linked to monkeypox
[3] USA: FDA authorizes Roche's test

[1] USA: cases by state
Date: Wed 16 Nov 2022 14:00 ET
Source: Centers for Disease Control and Prevention (CDC) [edited]
<https://www.cdc.gov/poxvirus/monkeypox/response/2022/us-map.html>

<https://promedmail.org/>

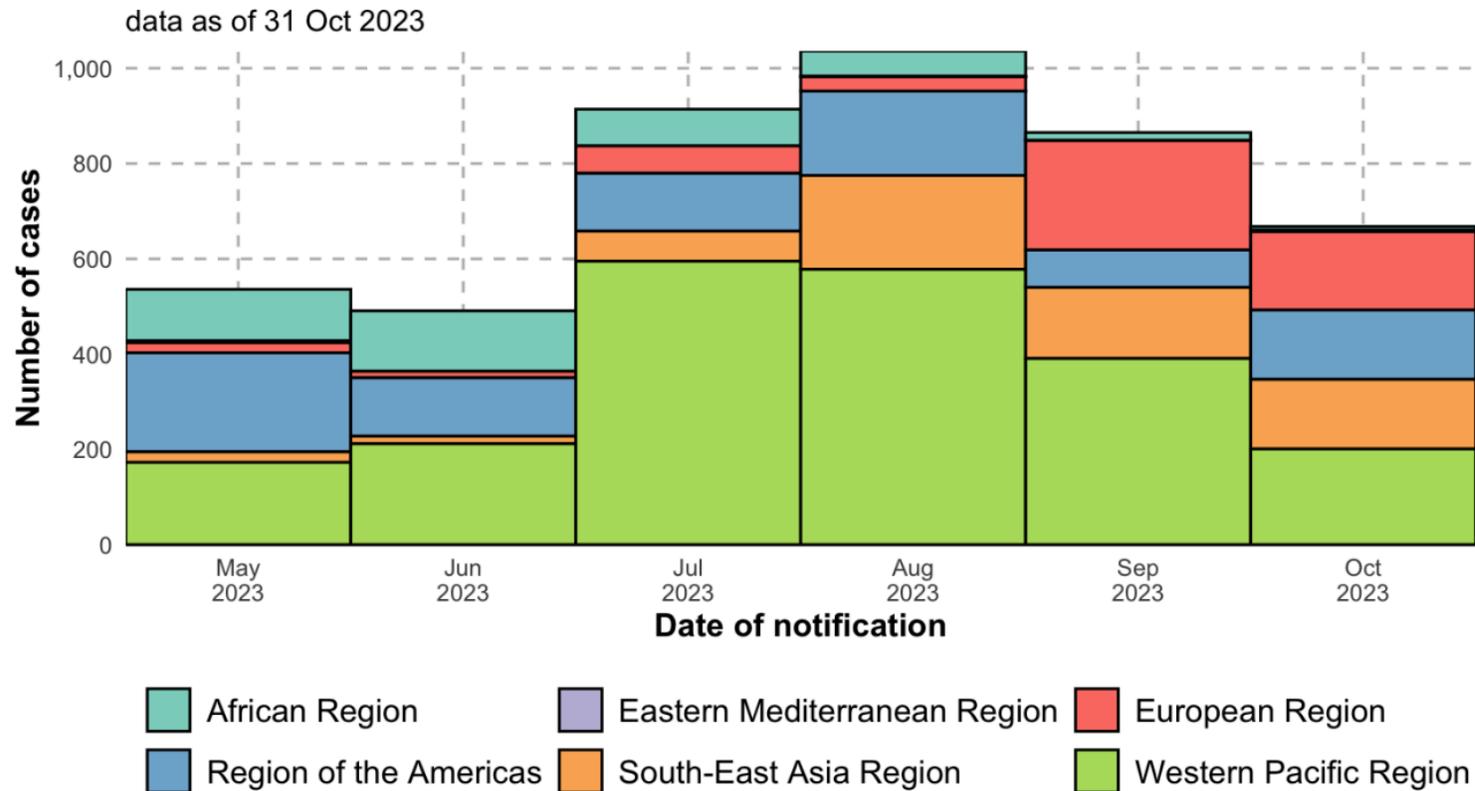
mpox(エムポックス)

- 1970年にコンゴ民主共和国で初めて確認
- オルソポックスウイルス属のエムポックスウイルスによる感染症
- 元々中央アフリカから西アフリカにかけて流行
- 2022年5月以降、これまでのmpox流行国への海外渡航歴のない患者が世界各地で報告
- 現在までに世界117カ国で約92000人の感染が確認
- 死亡例は約150人が報告



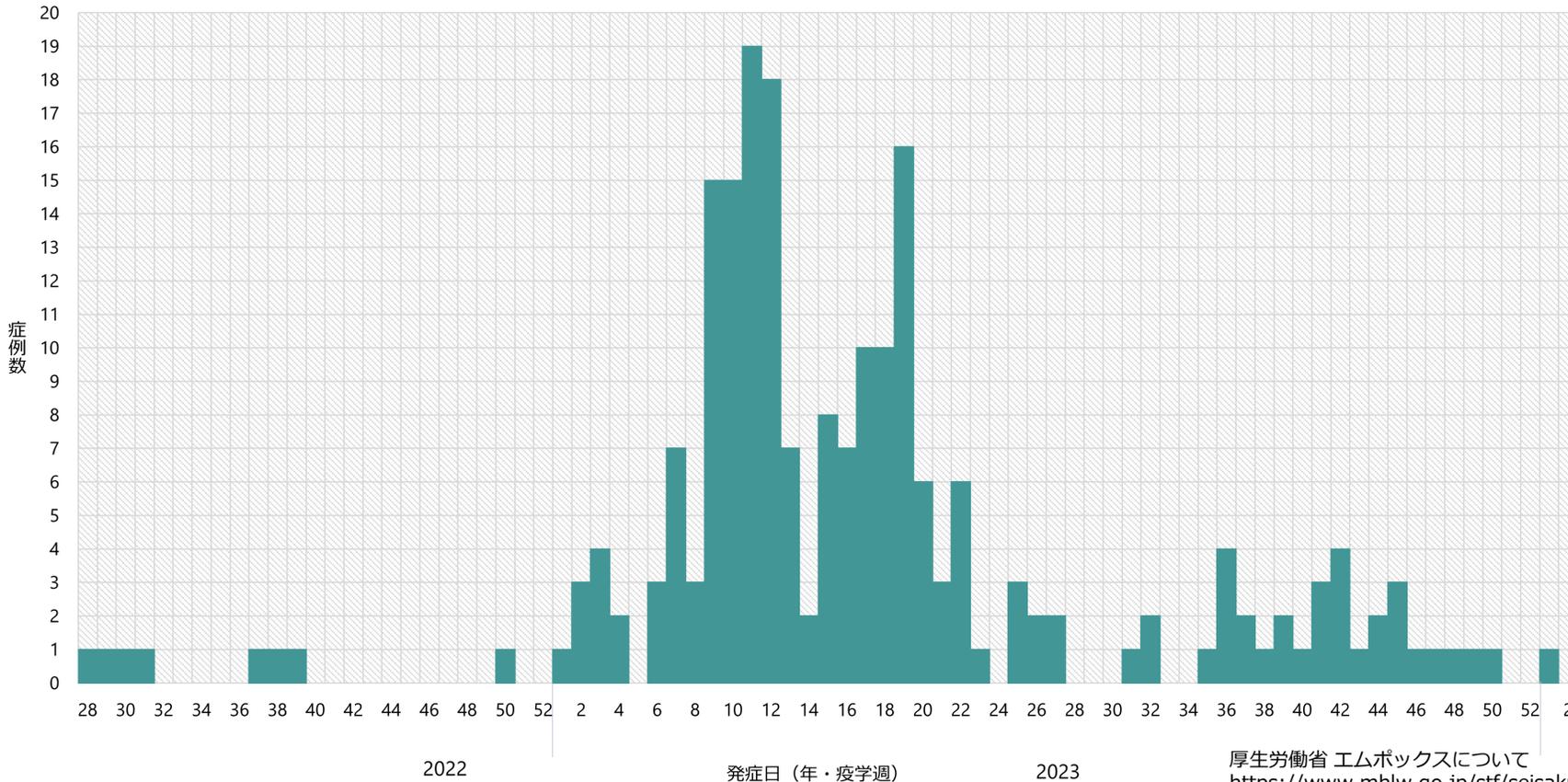
mpox(エムポックス)

- 現在世界全体の症例の報告数は減少傾向
- 2023年3月以降、**東南アジア**、**西太平洋諸国**での報告が増加



mpox(エムポックス)

- 日本国内では、2022年7月に1例目が確認
- 2023年以降は海外渡航とは関連のない国内発生症例
- 現在までに**234例**が報告



mpox(エムポックス)

【感染経路】

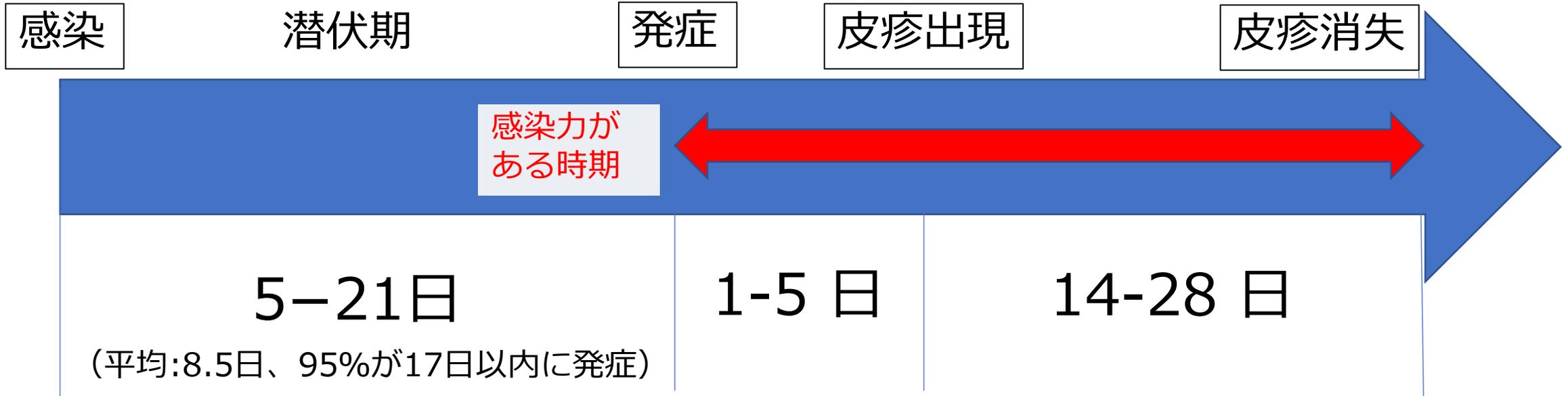
- ・現在の流行は**性感染症**としての側面が大きい
- ・ほとんどの患者が**若年男性**で、**男性間で性交渉を行う者(MSM; men who have sex with men)**が多く含まれる
- ・感染者のうち、**HIV感染者が約60%**である

- ・感染者との性的接触、対面での飛沫への長時間の曝露、患者が使用したリネンなどとの接触で生じる

- ・空気感染を起こした事例は確認されていない

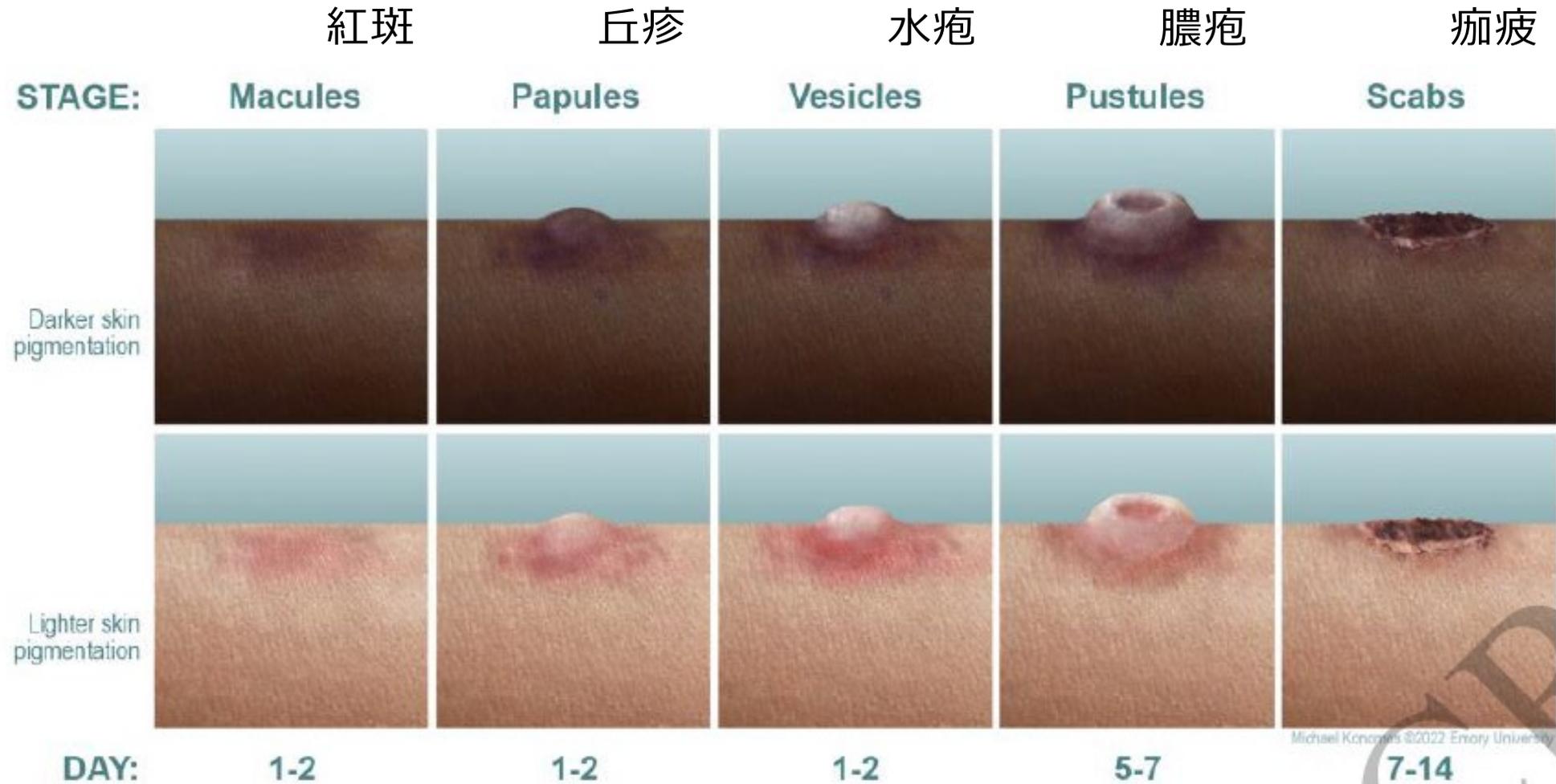
症状経過

全身倦怠感 (76%)
悪寒 (71%)
リンパ節腫脹 (53%)
発熱 (41%)
全身の疼痛 (35%)
咽頭痛、咳嗽 (29%)



皮疹の経過

▶ 皮疹の時相が一致しないこともある



Michael Kononov ©2022 Emory University



皮疹

- ▶ 性器、肛門周囲に生じることが多い
- ▶ 無痛性であることが多い



参考

(梅毒)

DermNet NZ. <https://dermnetnz.org/topics/syphilis-images>



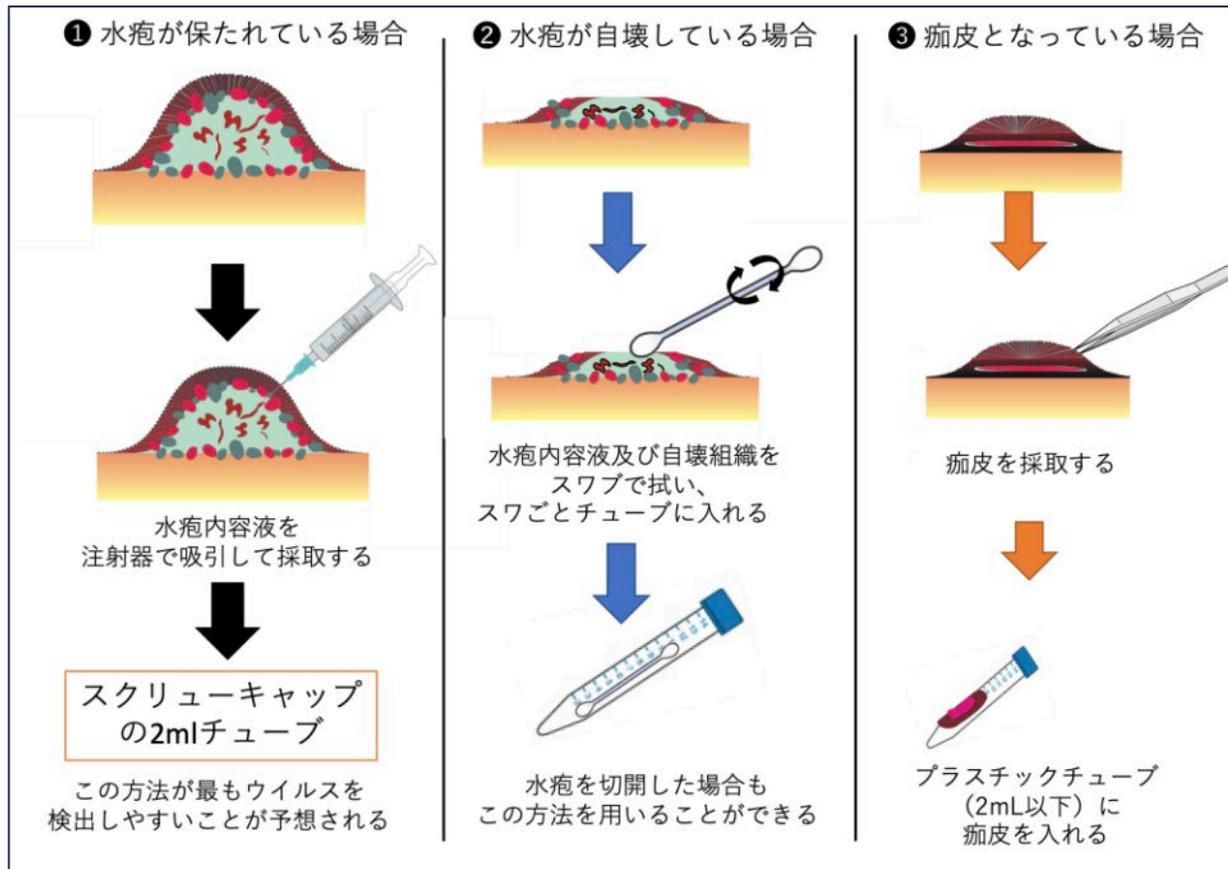
(性器ヘルペス)

DermNet NZ. <https://dermnetnz.org/topics/genital-herpes-images>



診断

- ・主に水疱や膿疱の内容液や蓋、あるいは組織を用いてPCR検査で遺伝子を検出することが有用
- ・疑った場合は最寄りの保健所に相談



治療

- ・ 対症療法
- ・ 現時点で、国内で利用可能な薬事承認された治療薬はない
- ・ 欧州では治療薬としてテコビリマットが承認されており、国内でも重症患者、もしくは重症化リスクの高い患者に対して特定臨床研究が実施されている

mpox(エムポックス)

- ・ウイルスはコンゴ盆地型（クレード I） と 西アフリカ型（クレード II a/ II b） の2系統に分類される。
- ・ **クレード I による感染例の死亡率は10%**
- ・ 現在流行しているのはクレード II a/ II bで、死亡例は1%程度
- ・ 日本でも現在までにクレード I の報告例はない
- ・ **コンゴ民主共和国ではクレード I による感染の報告もあり、今後の拡大がないか注意が必要**

エムボックス 診療の手引き

第 1.0 版

Dec 2023

2023年12月
エムボックス診療の手引き 第1.0版

<https://www.mhlw.go.jp/content/001183682.pdf>

ニパウイルス

発生地域：インド ケララ州 コーリコード地区



時期：2023年9月12日～15日

感染者数：6例（うち2例が死亡例）

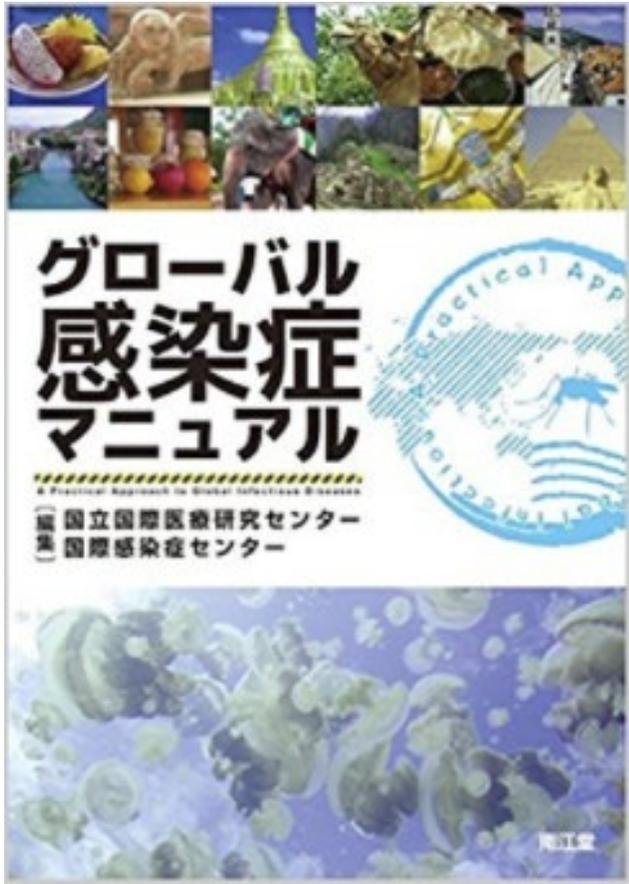
曝露：コウモリが媒介する新興の人獣共通感染症。

感染動物（コウモリ、ブタなど）や、感染動物の唾液、尿、排泄物で汚染された食品を介してヒトに伝播する。

感染者との濃厚接触を通じてヒトからヒトに直接感染する可能性もある。

症状：潜伏期は2～21日。急性呼吸器感染症、致死性脳炎などの様々な臨床症状を引き起こす。**致死率は40%～100%で、現時点では有効な治療法やワクチンはない。**

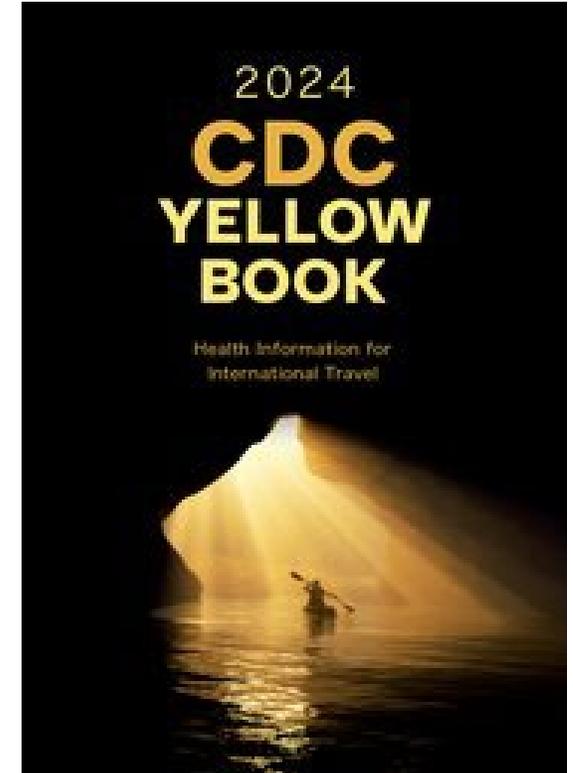
輸入感染症を勉強するためには



グローバル感染症マニュアル
国立国際医療研究センター国際感染症センター 編集
2015年4月 発売



症例から学ぶ輸入感染症 AtoZ Ver.2
大阪大学医学部 感染制御部 忽那 賢志 著
2019年4月 発売



CDC Yellow Book 2024
Oxford Univ Pr
2023年4月 発売

